

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	那覇市こども発達支援センター（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月13日	～	令和8年 2月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 2名	(回答者数)	2名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月16日	～	令和8年 2月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 11名	(回答者数)	11名
○訪問先施設評価実施期間	令和8年 2月17日	～	令和8年 3月5日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数) 2施設	(回答者数)	2施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 17日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種の訪問支援員が複数在籍し専門的視点で支援が行なわれている。 (心理士、保育士、言語聴覚士、作業療法士)	依頼内容に合わせて、訪問支援員を選定し職種の異なる専門職2名体制で訪問している。 研修や勉強会を通し支援体制のあり方、関わり方を多職種間で共有、支援に繋げている。	引き続き多角的な視点を活かした支援を実現するため、異なる専門職が2名体制で訪問を行っていく。また、研修や勉強会を通じて支援力の向上に努める。
2	カンファレンスに保護者も同席し三者（施設・保護者・訪問員）で子の育ちや支援を確認している。	子どもが育ってきた過程を共有した上で、今の育ちに合わせた支援を提供している。	今後も、児童や保護者、施設へのサポートを引き続き実施する。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設・保護者・訪問員の三者間の日程調整が難しい。	観察や直接支援の後、三者によるカンファレンスを設定している。一人担任制の場合、カンファレンスを抜けた後のフォロー体制の調整も求められる為、日程調整が難しい。	訪問先の負担にならない日程や日時に柔軟に調整できるようにしていきたい。
2			
3			